Sysmex

A Unique & Global Healthcare Testing Company

2006年3月期 決算説明会

～総括および今後の事業展開について～

シスメックス株式会社

代表取締役社長　家次　恒

本日のテーマ

Sysmex

■2006年3月期決算の総括

- トピックス
- 2006年3月期決算の概要
- 中期経営計画の進捗

■今後の事業展開

- 環境認識
- 基本戦略と長期ビジョン
- 今後の取り組み
- 2007年3月期 連結業績予想

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる可能性があります。

2006年3月期決算の総括

- トピックス
- 2006年3月期決算の概要
- 中期経営計画の進捗

Sysmex

2006年3月期決算の総括

トピックス

トピックス①

■ 研究開発

- 研究開発企画本部の新設
- シスメックス国際試薬(株)より診断薬開発本部を統合
- 多項目自動血球分析装置「XSシリーズ」発売

高性能／小型　多項目自動血球分析装置
XSシリーズ

多項目自動血球分析装置
XE－2100

- 当社所有の研究開発拠点に隣接する不動産を取得
- 平成17年度近畿地方発明表彰「特許庁長官奨励賞」を受賞
  →「XE－2100」で使用される検査用試薬および測定方法

■ アライアンス

インフルエンザ迅速診断キット
ポクテム　インフルエンザA／B

- 大塚製薬(株)とインフルエンザ迅速診断キットの販売契約(日本)
- ロシュ・ダイアグノスティックス社より、生化学分野および血液ガス分析分野のサービス業務を部分受託(日本)

トピックス②

■ 関係会社／事業所

- 欧州/米州試薬生産工場の試薬生産能力強化に着手(欧州・米州)
- シスメックスポーランドを設立し、販売サービス網を拡充(欧州)

シスメックスポーランド

ソリューションセンター

←ショールーム

カスタマーサポートセンター

- ロシア駐在員事務所の開設(欧州)
- 新事業所“ソリューションセンター”がオープン(日本)
- 診断薬生産部門の分社化を発表(日本)
- シスメックス上海オフィス移転(中国)

シスメックス上海

■ その他

- 保育業務支援ソフトウェア発売(日本)
- セルフメディケーション支援システム発売(日本)
  →健康管理支援ビジネスへの新規参入
  →イオン(株)の店舗内ドラッグストアに設置

お客様用端末

Sysmex

2006年3月期決算の総括

2006年3月期決算の概要

2006年3月期 連結決算のポイント

Sysmex

Profit&Loss Statement
（損益計算書）

- 過去最高の業績を達成
  - ✓ 売上高6期連続増収、経常利益8期連続増益
- 海外売上高89.4億円増収（＋20.5%）
- 営業利益率の改善（11.8%⇒12.2%）
  - ✓ 原価率の改善: 42.6%⇒41.8%
  - ✓ 研究開発費を除く販管費率の改善:37.1%⇒36.7%

Balance Sheet
（貸借対照表）

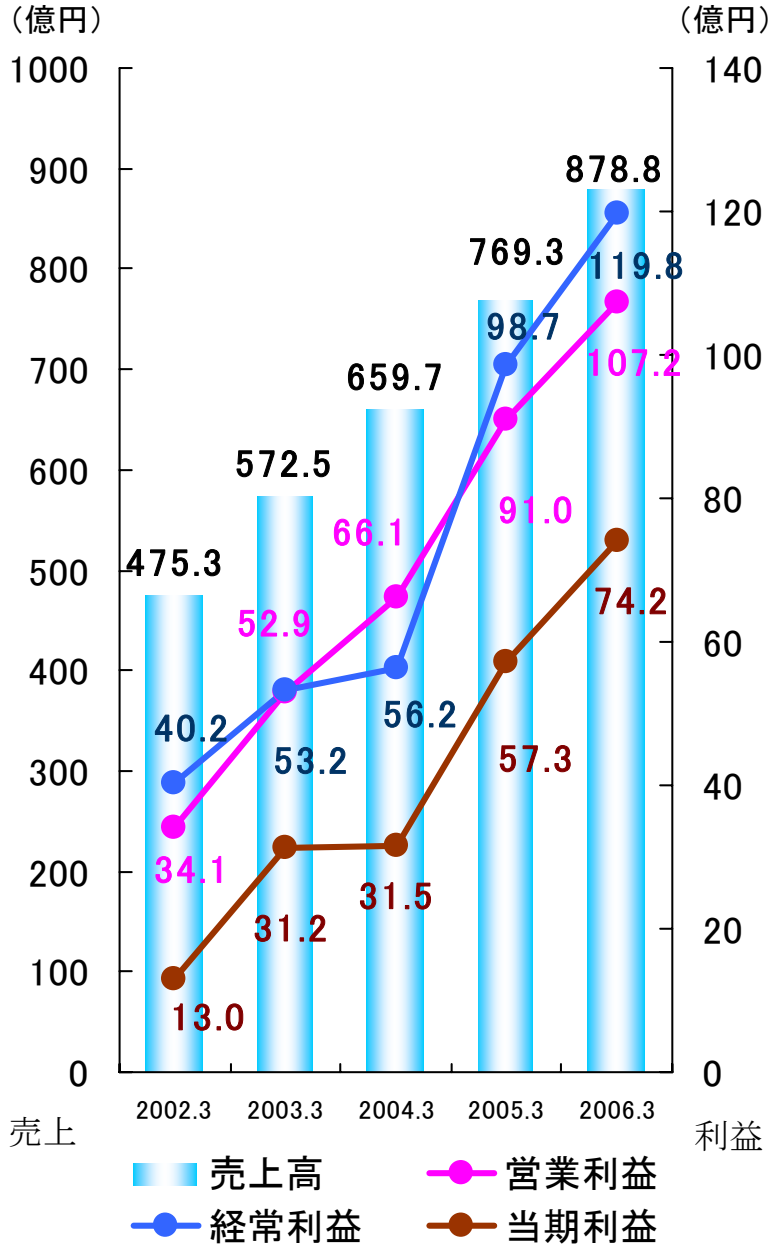
- ROEの上昇（10.7%⇒12.5%）
- 有形固定資産の増加
  - ✓ 当社所有の研究開発拠点に隣接する不動産など:20億円

Cash Flow Statement
（キャッシュフロー計算書）

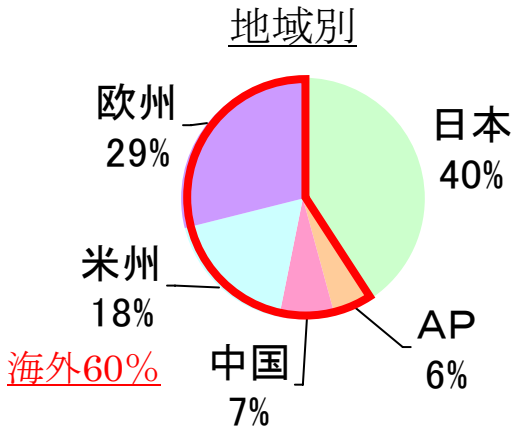
- 営業キャッシュフローの増加（66.9億円⇒82.7億円）
- 投資活動の支出増加（56.3億円⇒78.5億円）
- 増配（8.2億円⇒11.2億円）

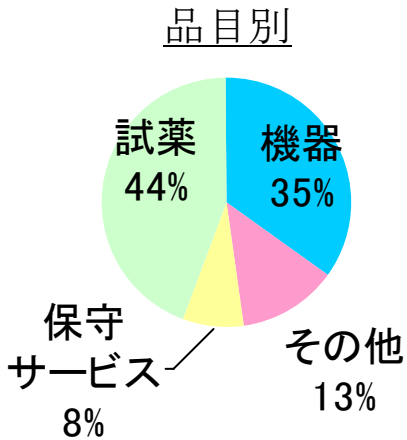
2006年3月期 連結損益の総括

Sysmex



- 売上高：対前期＋14.2%
  - ✓ 海外売上高の構成比6割に続伸
- 営業利益：対前期＋17.8%
  - ✓ 営業利益率：11.8%⇒12.2%
- 経常利益：対前期＋21.4%
  - ✓ 経常利益率：12.8%⇒13.6%
- 当期純利益：対前期＋29.5%
  - ✓ 当期純利益率：7.4%⇒8.4%

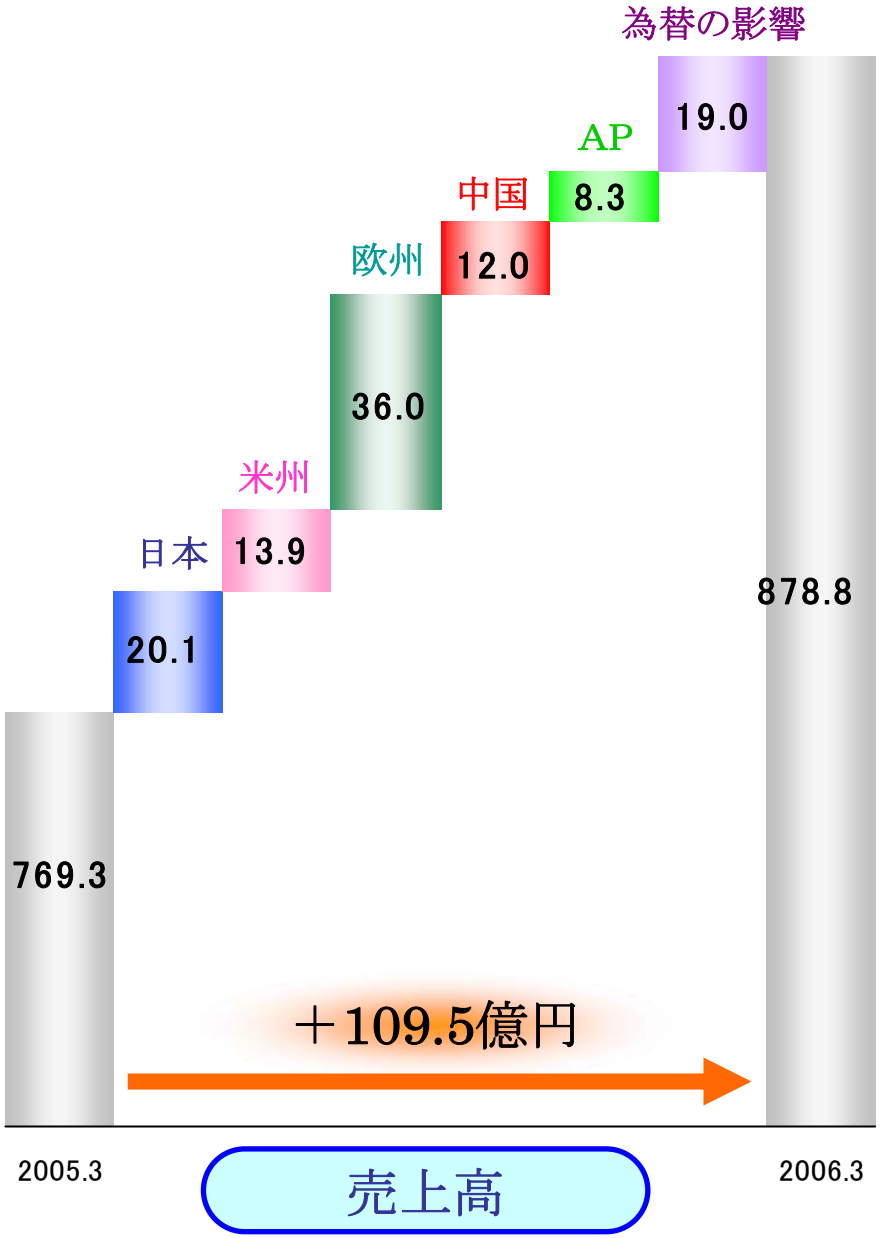


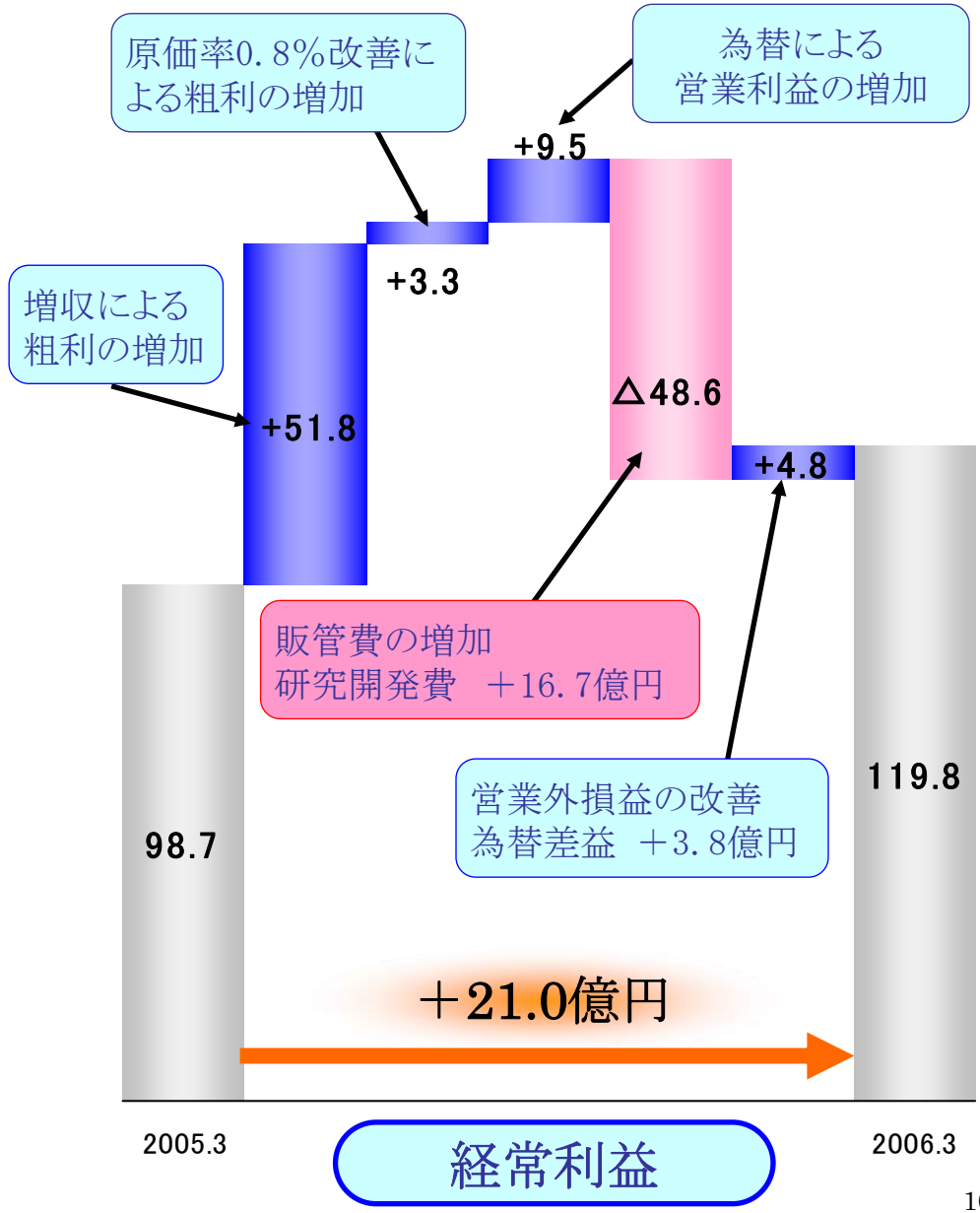


売上高・経常利益の増減要因

※各地域の売上は為替の影響を除く

(単位:億円)

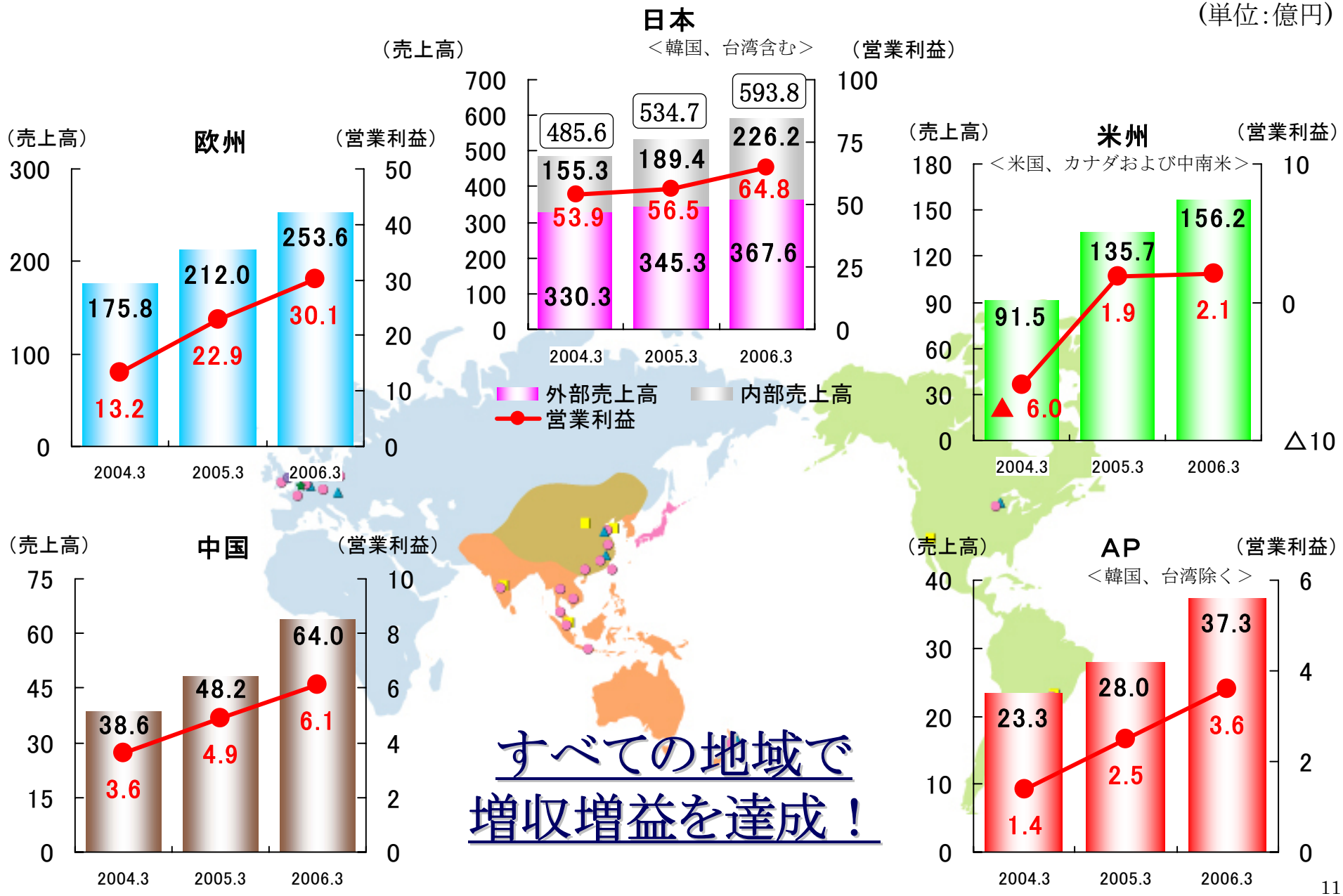




所在地別セグメント情報

Sysmex

(単位:億円)

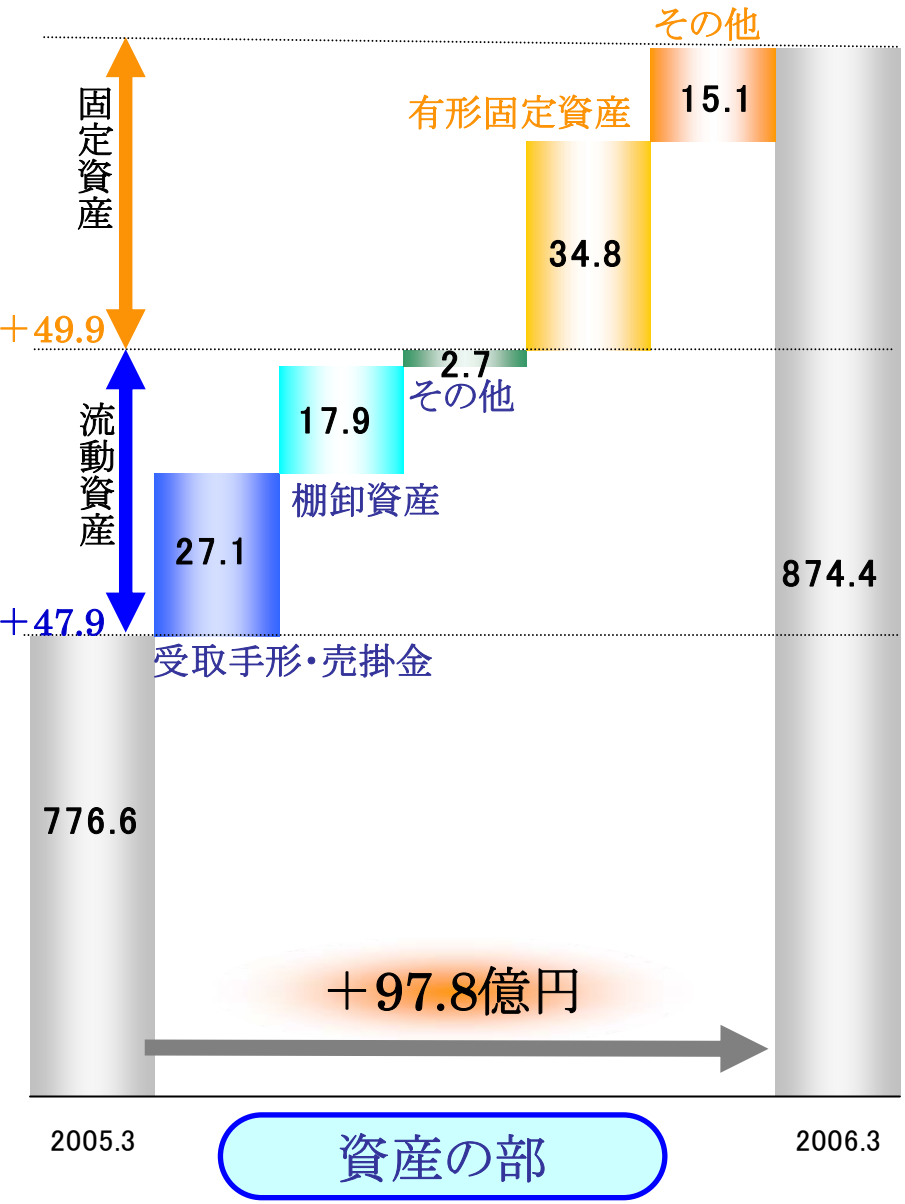


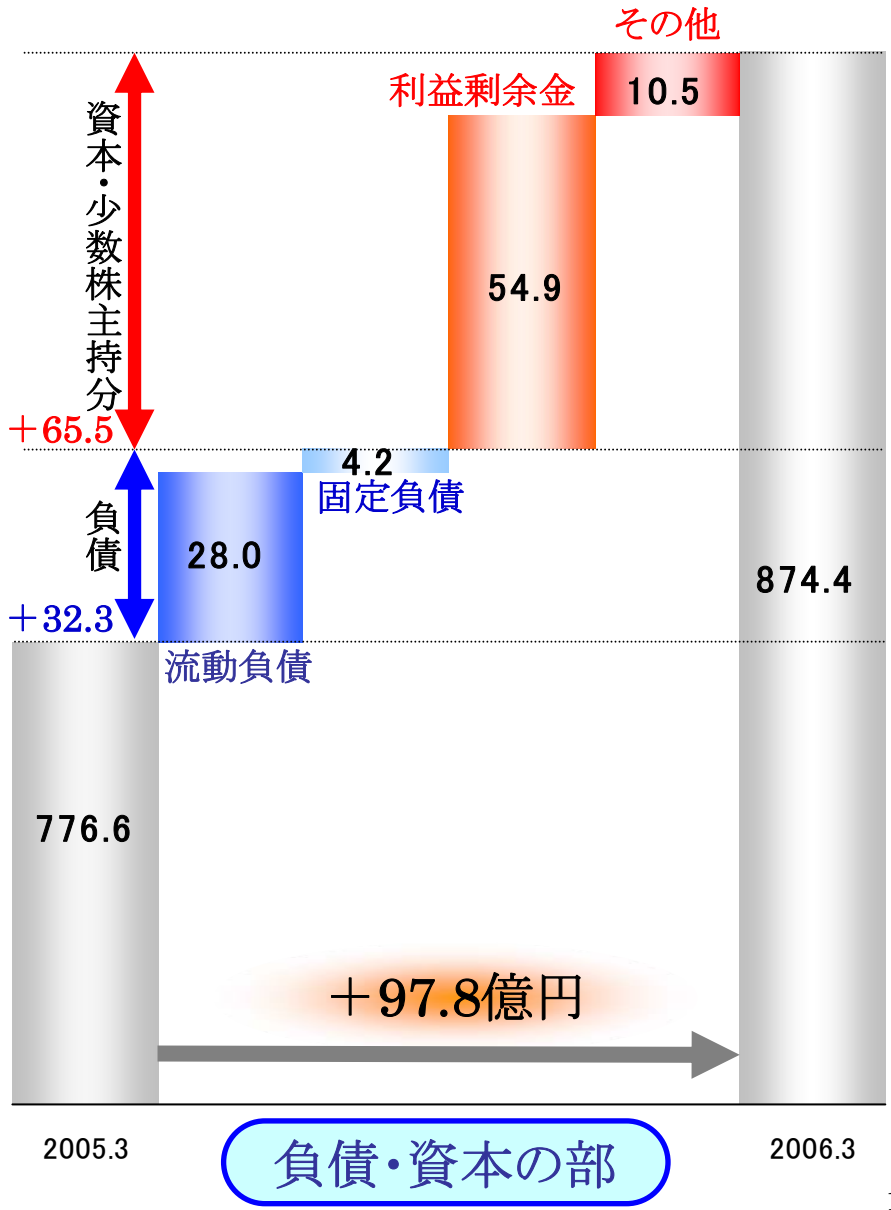
すべての地域で
増収増益を達成！

貸借対照表の増減要因

Sysmex

（単位：億円）

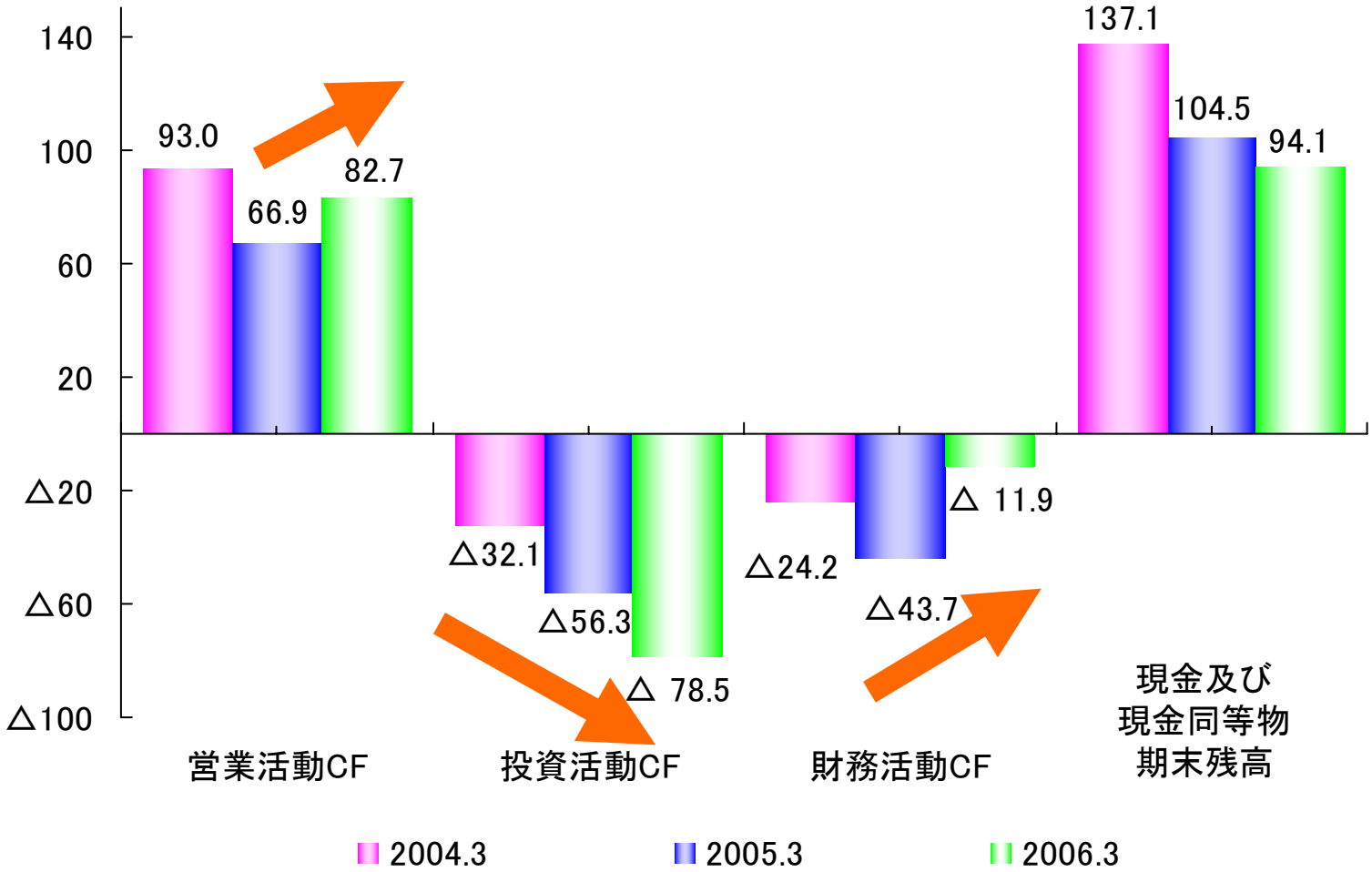




キャッシュフローの推移

Sysmex

（単位：億円）



成長企業として“キャッシュ創出→再投資”の循環

配当

	中間	期末	年間
06/3期	20円	16円 （うち記念配当2円）	36円
（参考） 分割前の配当額換算	20円	32円	52円
05/3期	15円	25円	40円

（※）2005年8月23日開催の取締役会決議に基づき、2005年9月30日を割当基準日とし、2005年11月18日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。

Sysmex

2006年3月期決算の総括

中期経営計画の進捗

中期経営目標と重点課題

Sysmex

（2005年5月公表）

重点課題

- 検体検査事業の持続的成長と収益拡大
- 高付加価値製品を継続的に生み出す技術力の強化と体制の再構築
- ライフサイエンス事業による成長の実現

中期経営目標
2007年度目標（2008年3月期）

- 売上高　:1，100億円
- 営業利益　:157億円
- 経常利益　:160億円
- 経常利益率 :14．5%
- ROE　:13．0%

（中計レート:1US$=¥105、1EUR=¥135）

2004年度実績（2005年3月期）

- 売上高　:769億円
- 営業利益　:　91億円
- 経常利益　:　98億円
- 経常利益率 :12．8%
- ROE　:10．7%

売上高	:＋109億円
営業利益	:＋16億円
経常利益	:＋21億円
経常利益率	:＋0.8p
ROE	:＋1.8p

2005年度実績（2006年3月期）

- 売上高　:878億円
- 営業利益　:107億円
- 経常利益　:119億円
- 経常利益率 :13．6%
- ROE　:12．5%

重点課題の進捗

Sysmex

■ 検体検査事業の持続的成長と収益拡大

- 血球計数分野における市場シェアの拡大
  - ✓ 米国におけるお客様からの評価向上と販売サービス体制の充実
  - ✓ 欧州、中国、APにおける高機能化促進と販売エリアの拡大
- 中国、APにおける血液凝固分野、生化学分野などの事業分野の拡大
- 日本における多様な品揃えとソリューションビジネスの推進
  - ✓ ポクテムビジネス（インフルエンザ迅速診断キット）の成長
  - ✓ ソリューションビジネスにおける（株）CNAとのシナジーの具現化

■ 高付加価値製品を継続的に生み出す技術力の強化と体制の再構築

- 研究開発体制の再編と研究開発マネジメントの強化
- 新技術戦略の策定
  - ✓ 疾患マネジメントに基づく新しい価値の創出
- 当社所有の研究開発拠点に隣接する不動産を取得

■ ライフサイエンス事業による成長の実現

- 各種研究テーマの臨床研究、治験の進捗
- ライフサイエンス事業として初の臨床用装置（RD-100i）
  および試薬の市場導入（欧州）

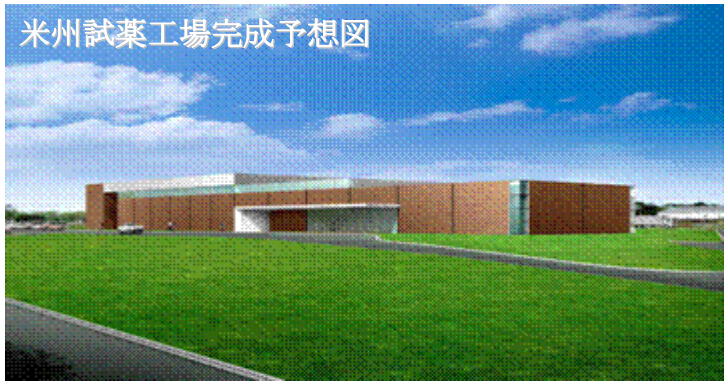
遺伝子増幅検出装置*RD－100i*

試薬生産機能の拡充

Sysmex

投資額：1200万ドル
生産能力：70万箱／年
※現状の約2倍
竣工時期：2007年4月

米州試薬工場完成予想図



シスメックスアメリカ（シカゴ）

米州

ノイミュンスター工場（ドイツ）

投資額：500万ユーロ
生産能力：140万箱／年
※現状の約2倍
竣工時期：2007年1月

欧州

投資額：5．8億円
竣工時期：2006年8月

管理棟完成予想図

西神工場（シスメック国際試薬、神戸市）

日本

今後の事業展開

- 環境認識
- 基本戦略と長期ビジョン
- 今後の取り組み
- 2007年3月期 連結業績予想

今後の事業展開

環境認識

外部環境

Sysmex

- BRICs等新興国の成長
- EUの拡大（東欧圏）
- 先進国における高齢化
- がん・生活習慣病の増加
- 高度先進医療の進展
- 医薬品業界の再編が活発化（日本）

- ポストゲノム技術の進化
- 再生医療等の先端技術の実用化
- 情報ネットワークの高速化

技術革新

医療政策

ヘルスケアは21世紀の成長産業

市場動向

規制動向

- 新会社法の施行（日本）
- 環境規制の強化（欧州）
- 医療関連の規制強化（中国、AP）

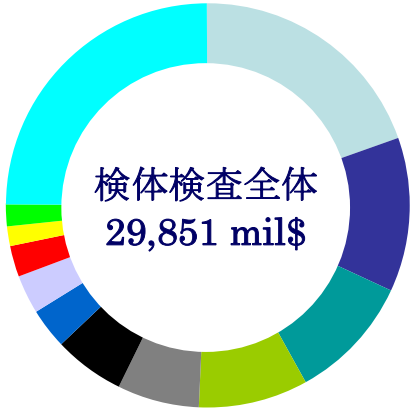
- 診療報酬3.16%引き下げ（日本）
- 『医療制度改革大綱』案公表（日本）
- 国立病院の独立行政法人化（日本）
- 第11次5カ年計画の採択（中国）
- 病院の独立採算経営（中国）
- 新政府による医療費抑制策（ドイツ）

検体検査市場の動向

Sysmex

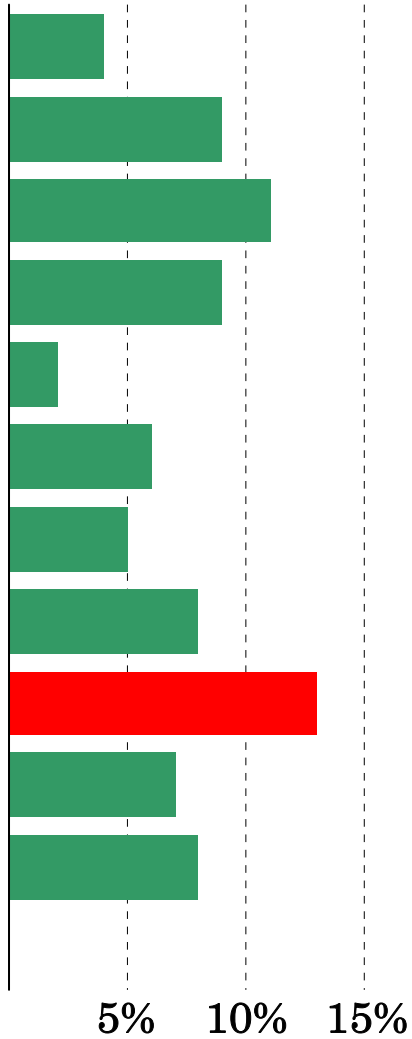
■グローバルメジャーの市場シェアと成長性（２００５年度実績）

（単位：million $）



- Roche
- Abbott
- J&J
- Bayer
- Beckman Coulter
- Dade Behring
- BioMerieux
- Becton Dickinson
- Sysmex
- BioRad
- DPC
- Others

Company	Sales
Roche	5,865
Abbott	3,756
J&J	3,187
Bayer	2,689
Beckman Coulter	1,906
Dade Behring	1,658
Bio Merieux	1,082
Becton Deckinson	984
Sysmex	776
BioRad	543
DPC	481
Others	6,950
TOTAL	29,851



各社アニュアルレポートなどの資料から当社推定

今後の事業展開

基本戦略と長期ビジョン

基本戦略と長期ビジョン

Sysmex

■ 基本戦略

グローバルニッチ No.1

アジア フォーカス

ライフサイエンス フォーカス

長期ビジョン　A Unique & Global Healthcare Testing Company

血球計数分野で
世界シェアNo.1

アジアでの
総合メーカーNo.1

新しい技術で
新しい市場を創出

米国市場の攻略

品揃えと販促強化

早期事業化

Sysmex

今後の事業展開

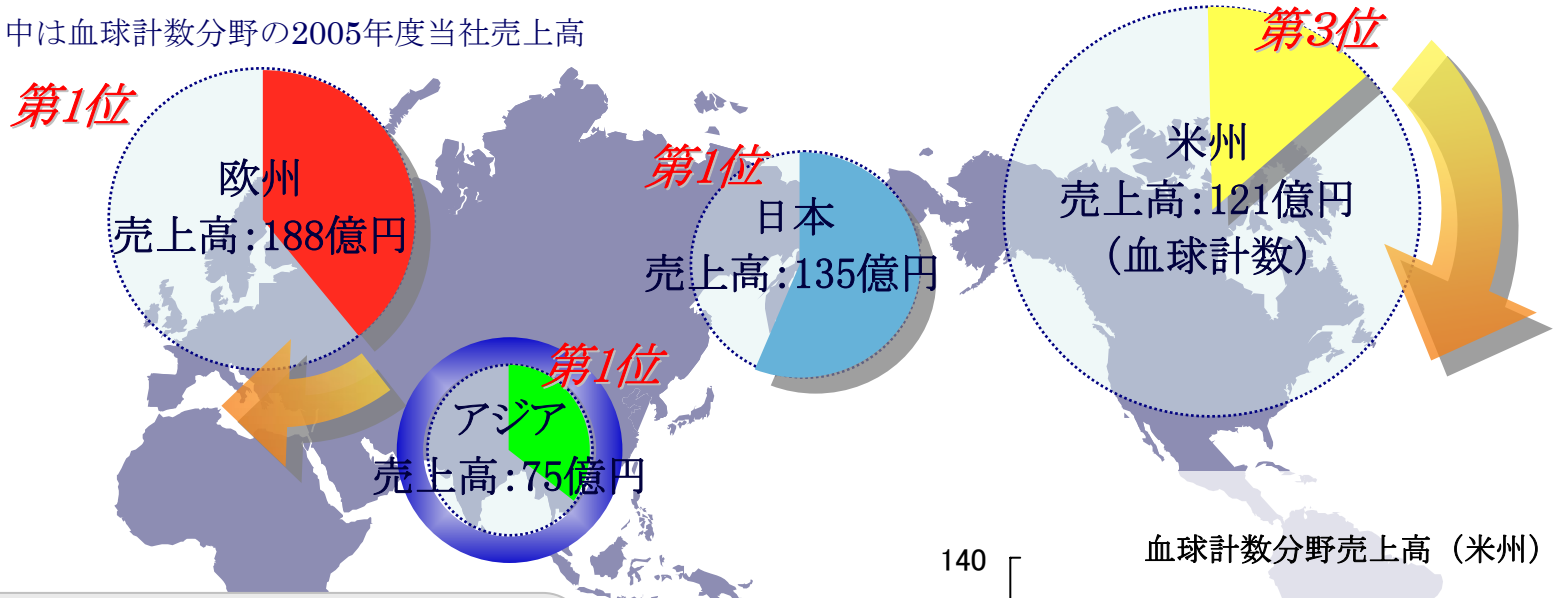
今後の取り組み

グローバルニッチNo.1

Sysmex

■ 市場へのアプローチ　～血球計数分野で世界シェアNo.1～

※円中は血球計数分野の2005年度当社売上高



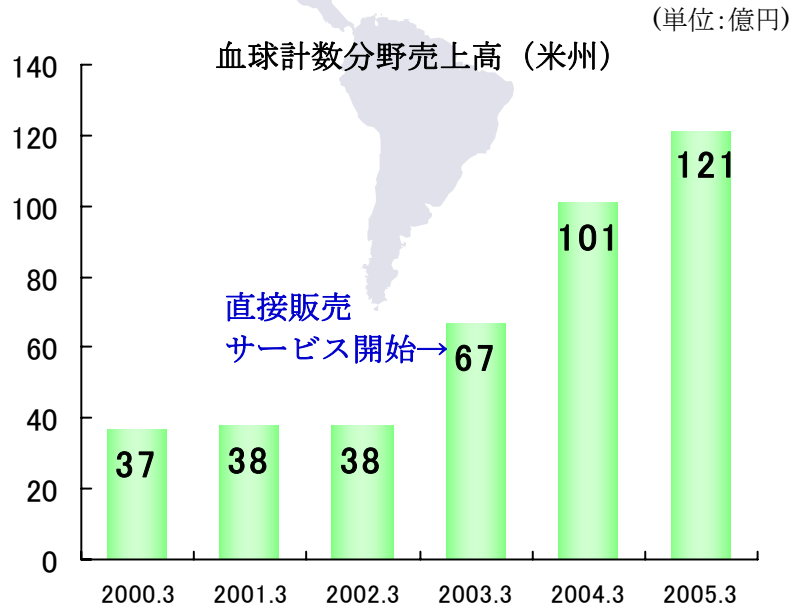
血球計数分野売上高(2005年度)

Company	Sales	Growth(%)
B社	477	
Sysmex	474	
C社	208	
A社	194	(←成長率不明)
Others	100	
TOTAL	1,453	

(単位:million $)

10%　20%

当社推定



米国市場攻略のポイント

Sysmex

病院市場

多項目自動血球分析装置 XSシリーズ

多項目自動血球分析装置XE-2100

多項目自動血球分析装置XT-2000i

大規模病院

中規模病院

小規模病院

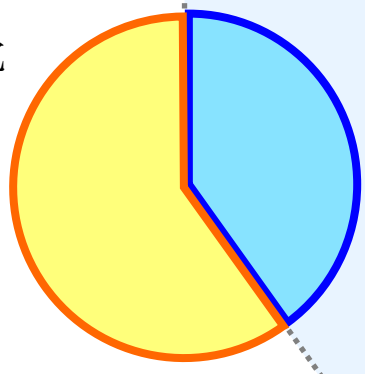
開業医クリニック

＜自社による直接販売＞

- 標準化コンセプトの下方展開
- カバー率向上による活動強化
- アライアンス企業の活用

エリア別の販売代理店やテレマーケティングの活用

米国検体検査市場



検査センター市場

総合血液検査システム

【競合状況】

評価ポイント	評点
生産性の向上[1]	○
省スペース	○
商品の性能、品質	○
ブランド認知度	▲
切り替え費用[2]	▲

1. 検査業務の生産性。処理能力の向上。
2. 情報システム変更などの導入時の付帯費用。

■ MD Buylineによる米国の顧客満足度調査結果　2006年2月

	総合	性能	信頼性	トレーニング	サービス	技術力
シスメックス	9.1	9.4	9.4	9.1	8.5	8.6
A社	7.7	8.1	7.8	8.6	6.3	7.4
B社	8.5	8.6	8.4	8.9	8.0	8.0
C社	8.1	7.6	7.4	8.7	7.8	8.4

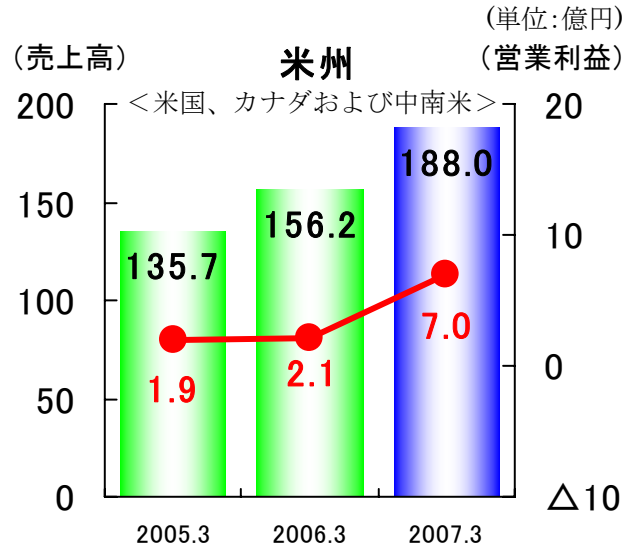
※MD Buyline　ダラスに本社を置く米国有数の調査・コンサルティング会社。ヘルスケア関連施設における主に情報関連設備の購入・導入時の意志決定の支援を行っている。

今後の取り組み（米州・欧州）

Sysmex

■ 米州における今後の事業展開

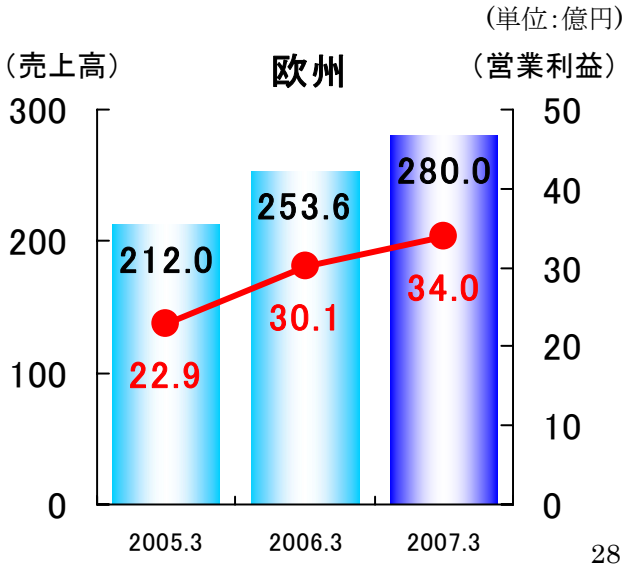
- 総合力を活かした大手検査センターへの販促強化
- XE／XT／XSによる標準化の訴求によるIHNの攻略
- 販売サービス体制の充実による病院市場のカバー率向上
  - ✓ 150床以上の病院への当社営業担当による販売強化
  - ✓ 販売代理店やテレマーケティングを活用した小規模病院市場への販売強化
- 現地試薬生産体制の強化
- ライフサイエンス分野のマーケティング体制の構築



※IHN（Integrated Health Network）：米国の総合医療事業体。複数の病院により形成され、広域の医療圏で地域住民に必要な医療を提供する組織

■ 欧州における今後の事業展開

- 検査情報システムを活用したソリューションビジネスの推進
- 東欧・ロシア・アフリカなど新興市場における血球計数装置の拡販
  - ✓ シスメックスサウスアフリカの設立
- 新規分野における活動強化と分野拡大の検討
  - ✓ エイズの治療方針決定に有用なCD4陽性細胞測定
- 欧州試薬工場の拡張
- ライフサイエンス分野のマーケティング体制の構築



アジアフォーカス

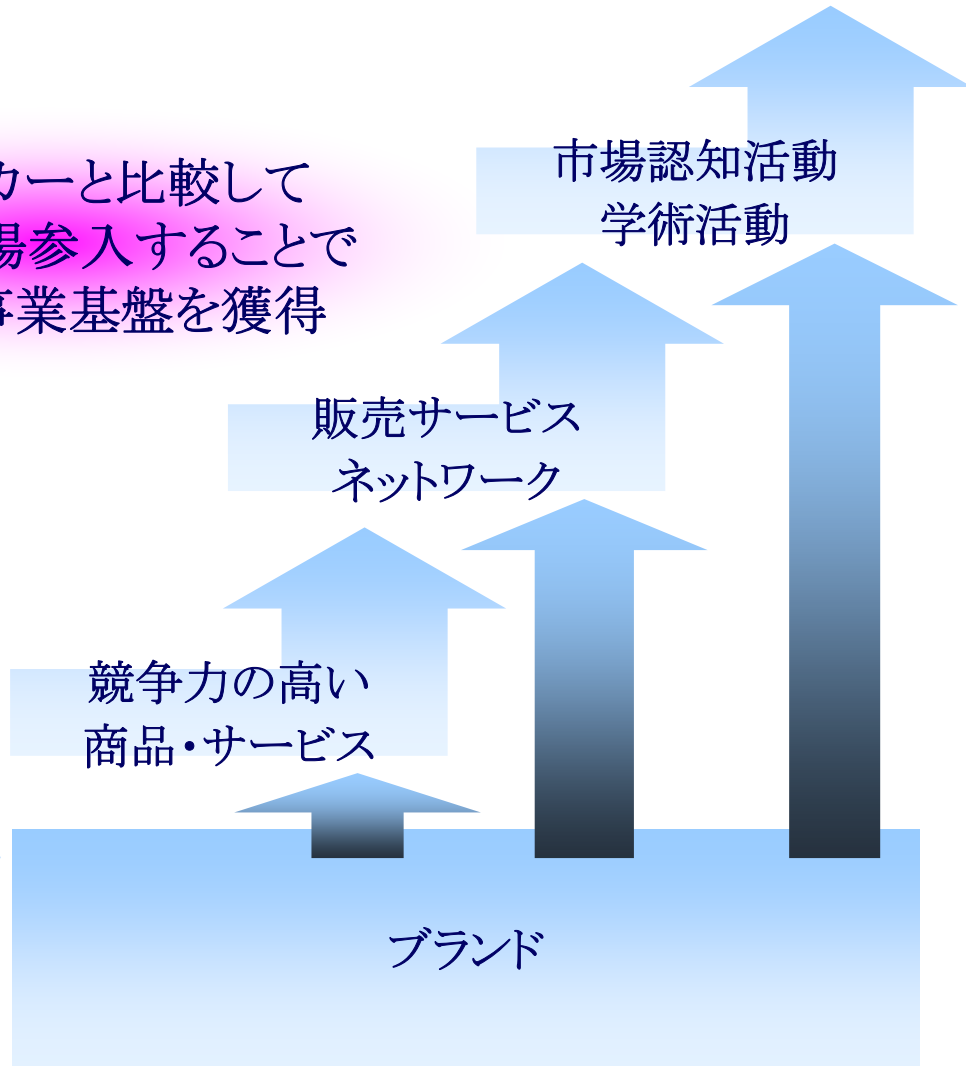
Sysmex

～アジアでの総合メーカーNo.1～

検体検査事業の持続的成長と収益拡大

競合メーカーと比較して
いち早く市場参入することで
充実した事業基盤を獲得

分野	日本	中国	AP
血球計数検査	√	√	√
血液凝固検査	√	√	√
生化学検査	√	√	√
尿検査	√	√	√
便検査	√	√	―
免疫血清検査	√	―	―
検査情報システム	√	√	√
Point of Care	√	―	―

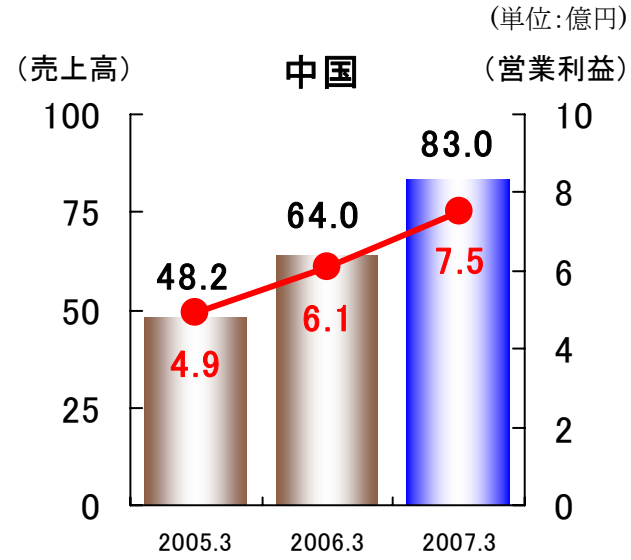


今後の取り組み（中国・ＡＰ）

Sysmex

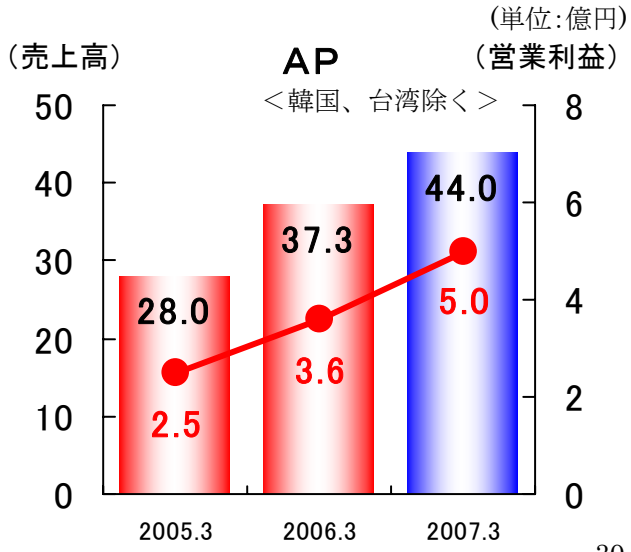
中国における今後の事業展開

- 高機能血球計数装置へのグレードアップ促進（都市部）
- 小型血球計数装置の拡販（農村部）
- 総合サプライヤーとしての事業拡大
  - ✓ 生化学分野における品揃え強化と販促強化
- サービス＆サポートの差別化



APにおける今後の事業展開

- 検査情報システムを活用したソリューションビジネスの推進
- 血球計数装置のグレードアップ促進
- 小型血球計数装置、血液凝固測定装置の拡販
- 総合サプライヤーとしての品揃えの拡充
  - ✓ 生化学分野・免疫分野の販売促進



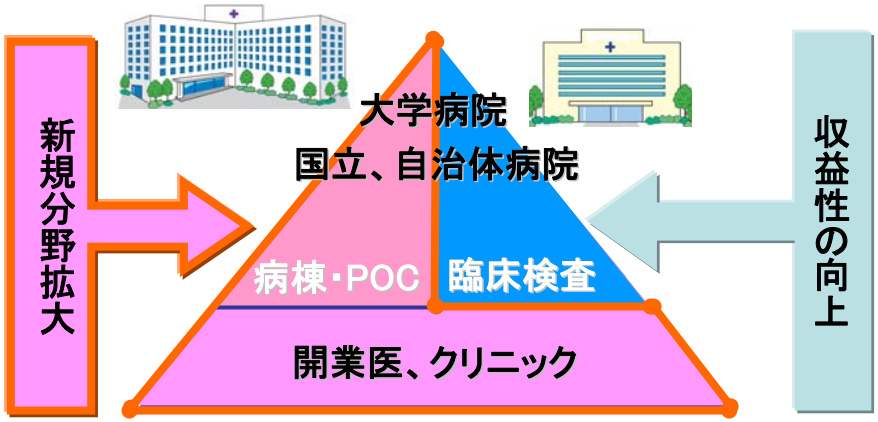
今後の取り組み（日本）

Sysmex

事業環境

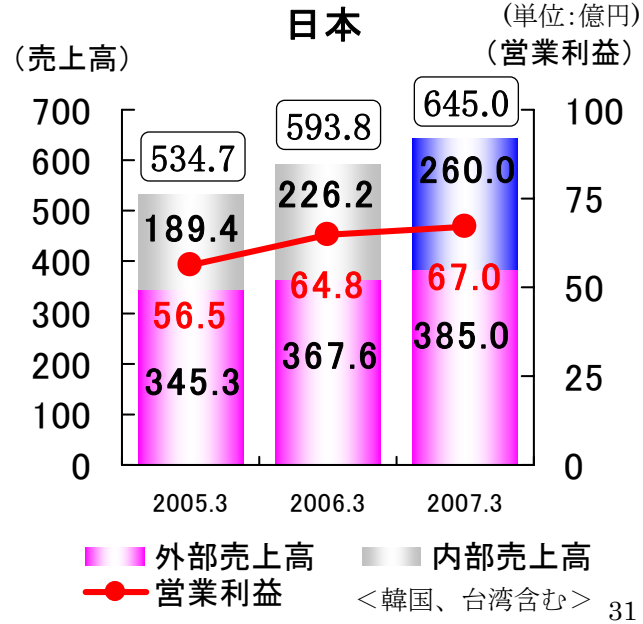
- 医療制度改革試案の公表
- 医療費総額管理の検討
- 混合医療の導入検討
- 高度先進医療の進展
- 医療機関の購入形態の多様化
- 診療報酬3.16%引き下げ
- 『医療制度改革大綱』案公表

日本における基本戦略



日本における今後の事業展開

- 効率的な販売サービス活動の実施
- 総合サプライヤーとしてのソリューションビジネスの推進
  - ✓ 顧客ニーズに合わせた販売スキームの拡充
  - ✓ （株）CNAの検査情報システムを活用した提案力の強化
  - ✓ ISO認証サポートビジネス
- 国内No. 1の販売・サービス体制を活かした事業展開
- POC市場・ヘルスケア関連市場に向けた販促活動の強化
  - ✓ 動物病院市場、病棟ビジネス



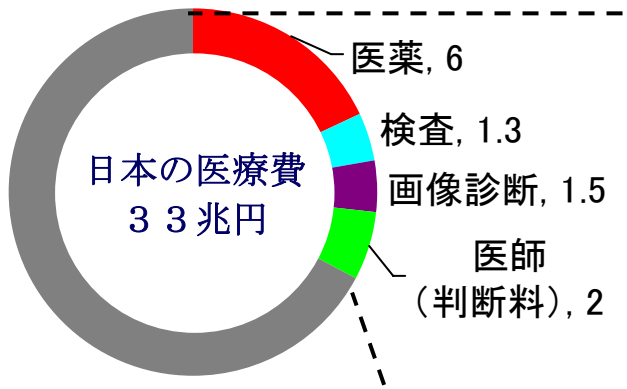
＜韓国、台湾含む＞

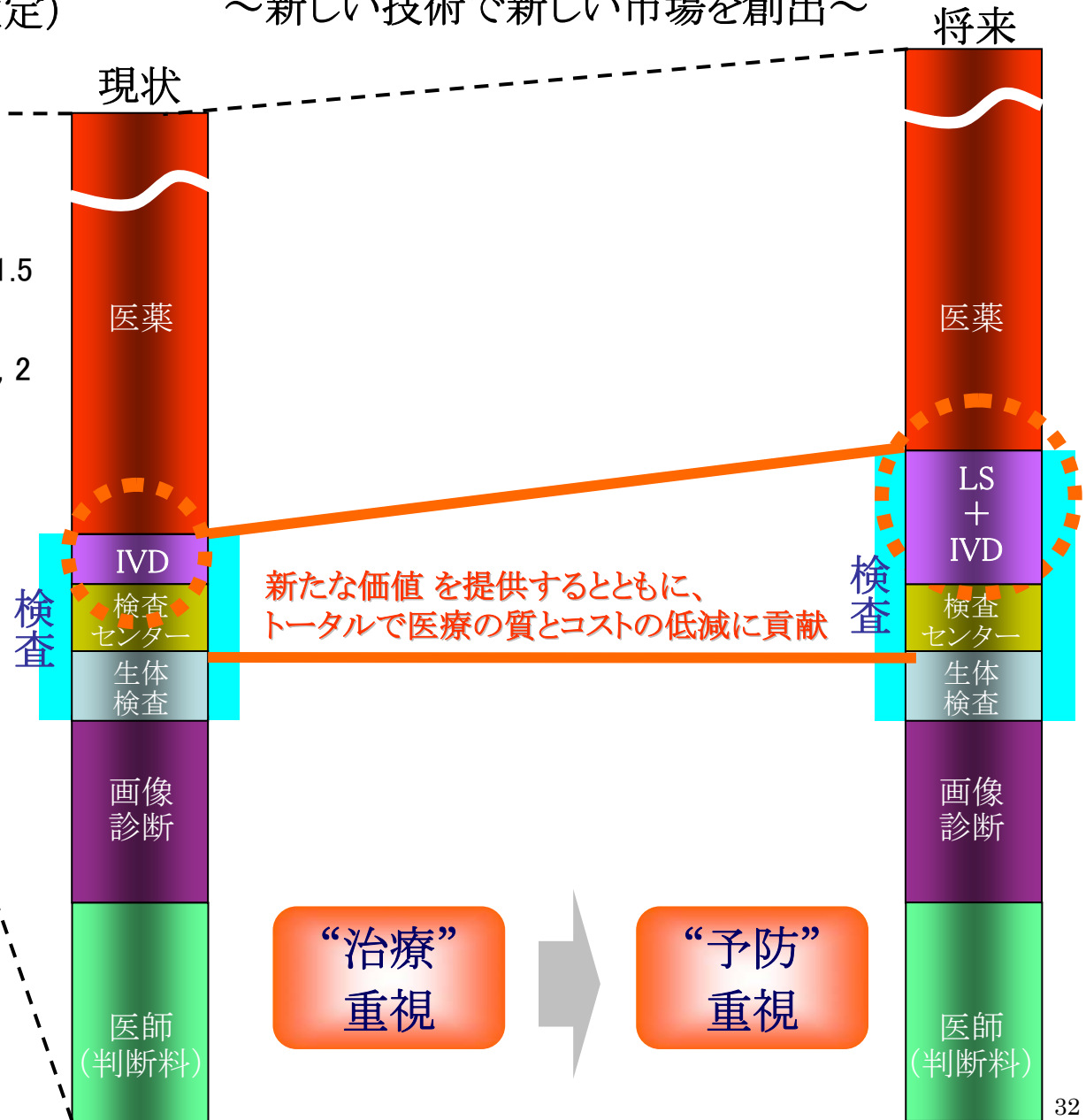
ライフサイエンスフォーカス

Sysmex

■ 日本の医療費の内訳（当社推定）　～新しい技術で新しい市場を創出～

（単位：兆円）





健康ブーム

健康で長生きしたいニーズ

遺伝子関連技術の進展

総額医療費の伸張の抑制

※IVD：In Vitro Diagnostics、検体検査
LS　：Life sciences、ライフサイエンス

疾患マネジメント

Sysmex

スクリーニング	確定診断	再発予防
異常を早期に発見！	短時間に精度 良く診断！	治療効果を確認！ 再発を早期に発見！
早期に治療開始	・病気の特定 ・治療方針の決定	・予後の見極め ・早期に再治療

「健康寿命の延長」,「QOLの向上」に貢献

※QOL（クオリティー・オブ・ライフ）:「生活の質」という意味で、「人が人としての尊厳を保ち、より良く健康に生きること」

疾患マネジメントのターゲット

Sysmex

感染症マネジメント

血液疾患マネジメント

癌疾患マネジメント

メタボリックシンドロームマネジメント

項目拡大

簡易検査

高感度感染症

MRD

白血病

子宮頸癌スクリーニング

転移モニタリング

薬剤感受性

再発予測

リンパ節転移

循環器モデル

糖尿病モデル

グルコース

技術の融合により“価値の高い検査の創出”

イムノクロマト

高感度特異的光学計測

FCM（フローサイトメトリー）

C2P/OSNA

微侵襲／病態シミュレーション

ソフトウェア開発技術

機器開発技術

診断薬開発技術

生命科学技術

技術インフラ

研究テーマの進捗

Sysmex

	研究	臨床試験（臨床研究）	臨床試験（治験）	申請/認可	市場導入	保険収載
■リンパ節転移迅速診断技術	適用拡大 ・癌種 ・種々の抗癌剤	大腸癌	乳癌	4月より欧州市場導入		
■抗癌剤効果予測技術						
■癌再発予測技術						
■子宮けい癌スクリーニング技術						
■微侵襲血糖自己測定技術						
■糖尿病マネジメントシステム						

日本：治験実施中
米国：治験に向けて準備中

臨床研究を実施中

臨床研究を実施中

欧州：臨床研究を実施中

臨床研究を実施中

臨床研究を実施中

治験：認可取得の為の臨床性能試験

市場導入後の事業化プロセス

Sysmex

～乳癌リンパ節転移迅速診断システム～

遺伝子増幅検出装置*RD－100i*

専用試薬・ディスポ

検査手法の標準化

臨床的意義の確立

オピニオンリーダー
による市場認知活動

市販後の治療成績の評価

主要施設における臨床
評価および学会発表
などの認知活動

保険適用

新しい検査の
医療経済評価※を実施

価値の認知の拡がり

大腸癌

乳癌
2006年4月欧州市場導入

欧州内の
国・地域の拡大

グローバルでの
市場導入へ・・・

お客様の拡大

※医療経済評価：経済的な観点から、新しい検査の価値を定量的に証明すること

今後の事業展開

2007年3月期 連結業績予想

2007年3月期 連結業績予想

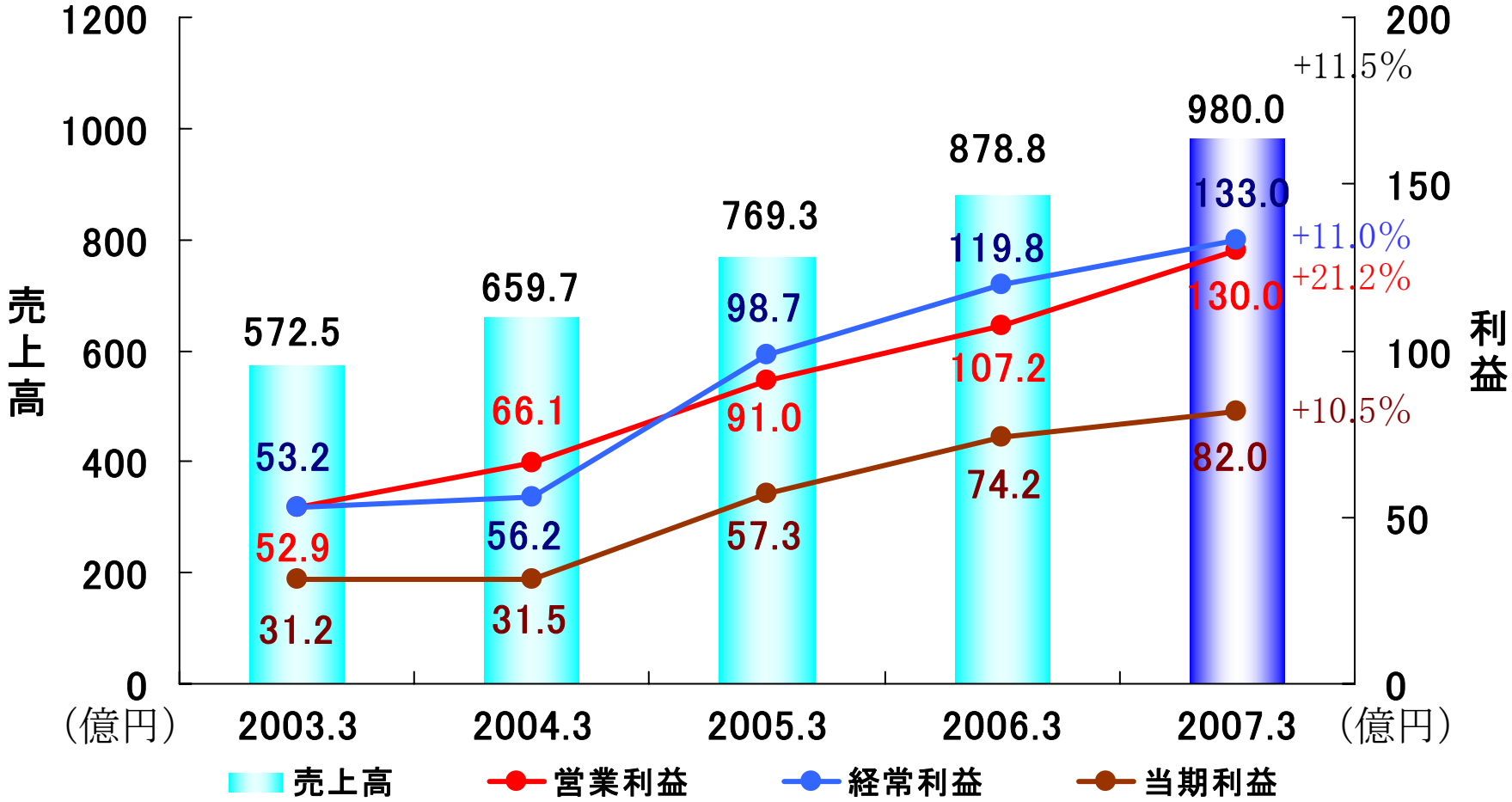
Sysmex

2007年3月期　連結業績予想　（計画レート：1US$=¥115、1EUR=¥138）

- 売上高　：980億円
- 経常利益　：133億円
- 経常利益率：13.6%
- 当期純利益　：82億円
- 当期純利益率：8.4%

投資計画

- 設備投資　：56億円
- 研究開発費　：89億円



2007年3月期予想配当額

	中間	期末	年間
07/3期	16円	16円	32円
06/3期	20円	16円 （うち記念配当2円）	36円
（参考） 分割後の配当額換算	10円	16円	26円

（※）2005年8月23日開催の取締役会決議に基づき、2005年9月30日を割当基準日とし、2005年11月18日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。

Sysmex

ヘルスケアテスティングの可能性に挑む。

シスメックス株式会社

＜お問合せ先＞
シスメックス株式会社 ＩＲ･広報室
・電話：078-265-0500
・メールアドレス：info@sysmex.co.jp
・ URL：www.sysmex.co.jp

END